



空間分析批判

第2部 空間・場所・領域
地理学概論 I 第4週



課題

教科書第4章は戦後の人文地理学の展開を踏まえ、空間がいかに人為的に「生産」されているかを説明しています。本章を読んで、以下の問いに教えてください。

- ① 空間分析が用いた「空間」概念の特徴をまとめてください。
- ② こうした特徴を持つ「空間」で行動する人間はどのような存在として想定されたでしょうか。1970年代以降の人文地理学はそうした空間と人間の間をどうとらえ直そうとしたのでしょうか。答えてみて下さい。
- ③ JR杉本町駅とその周辺住宅地区のGoogleマップを見て、街路空間が持つ「秩序」や「歪み」を発見してみましょう。そこに誰によってどんな空間が「生産」されてきたかその理由と共に考え、教えてください。



課題

教科書第4章は戦後の人文地理学の展開を踏まえ、空間がいかに人為的に「生産」されているかを説明しています。本章を読んで、以下の問いに教えてください。

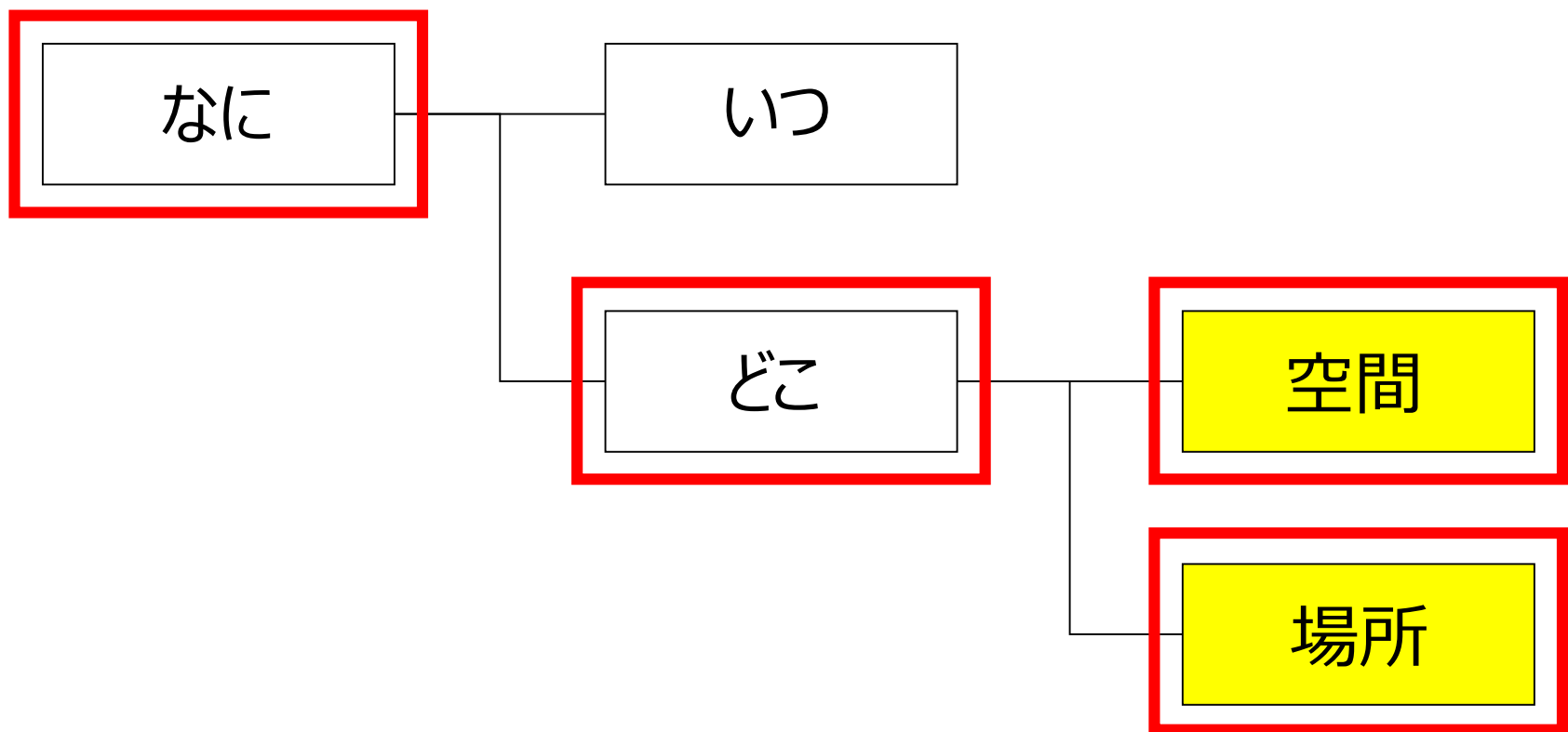
- ① 空間分析が用いた「空間」概念の特徴をまとめてください。
- ② こうした特徴を持つ「空間」で行動する人間はどのような存在として想定されたでしょうか。1970年代以降の人文地理学はそうした空間と人間の間をどうとらえ直そうとしたのでしょうか。答えてみて下さい。
- ③ JR杉本町駅とその周辺住宅地区のGoogleマップを見て、街路空間が持つ「秩序」や「歪み」を発見してみましょう。そこに誰によってどんな空間が「生産」されてきたかその理由と共に考え、教えてください。



なぜ地理学は「重要」か？

- 大学生がイラクや北朝鮮の位置を知らないから（2005年調査）⇨地政学的知識
- 物体や事象（＝なに）の生起・存在を規定するもの
- いつ＝時・時間（歴史学）
- どこ＝場・空間
- 「場」の性質→地理学
- 二つの「場」＝空間と場所





「空間」の意味と把握

1. そこを満たしている固体や液体が何も無い場所（広がり）。
2. （物質が存在し種種の現象が起こる場所としての）上下・左右・前後の三次元にわたる無限の広がり。三次元空間。
3. 〔**数学**で〕直線・平面・「空間2」の総称。順に、一次元・二次元・三次元の空間と呼び、さらに四次元以上の空間にまで拡張される。



絶対空間・絶対位置という考え方



プトレマイオスの世界図（1482年再版）
＝世界各地の位置を**経緯度**で示す

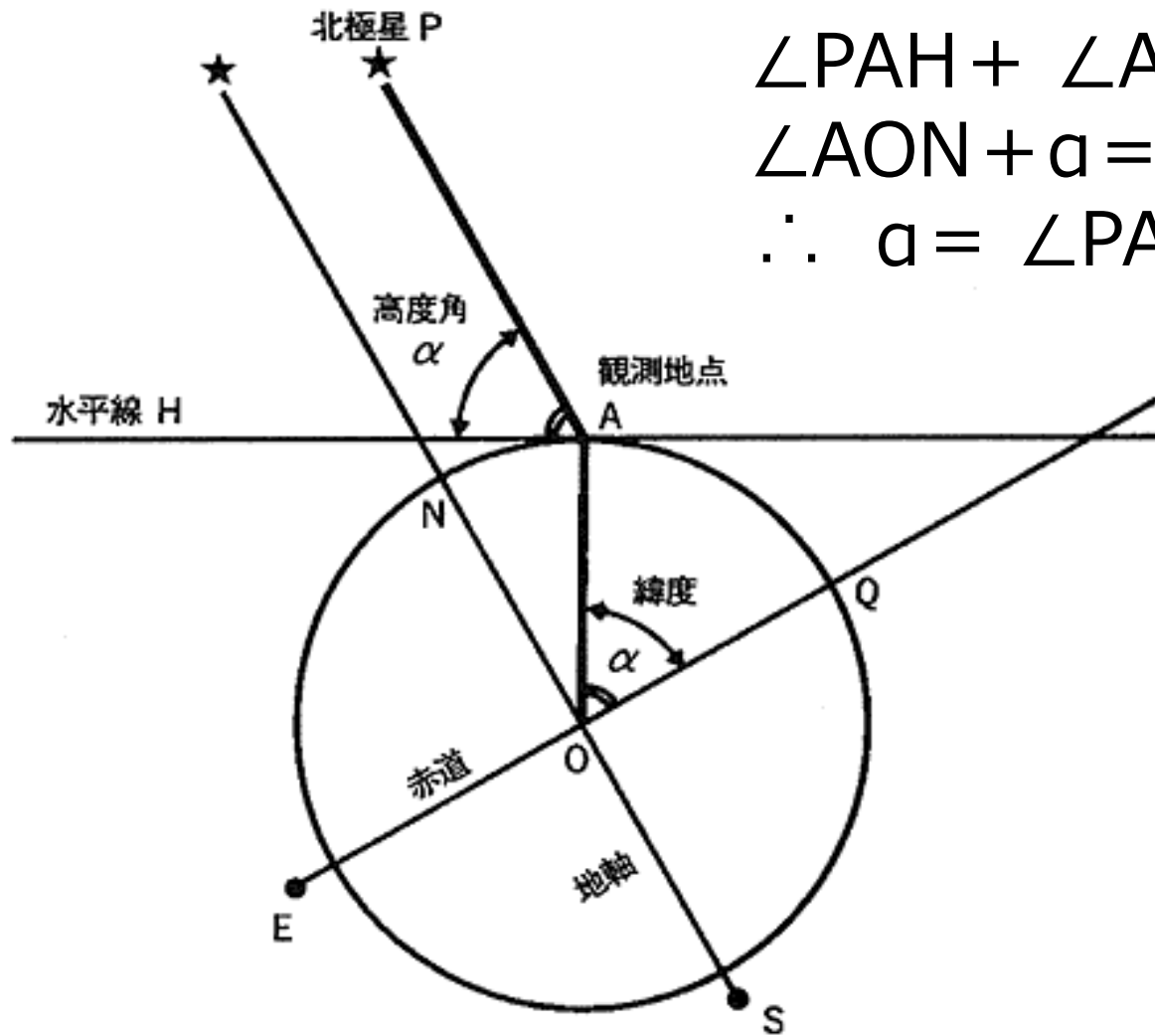


$$\angle PAH + 90^\circ + \angle AON = 180^\circ$$

$$\angle PAH + \angle AON = 90^\circ$$

$$\angle AON + \alpha = 90^\circ$$

$$\therefore \alpha = \angle PAH$$



緯度を測る

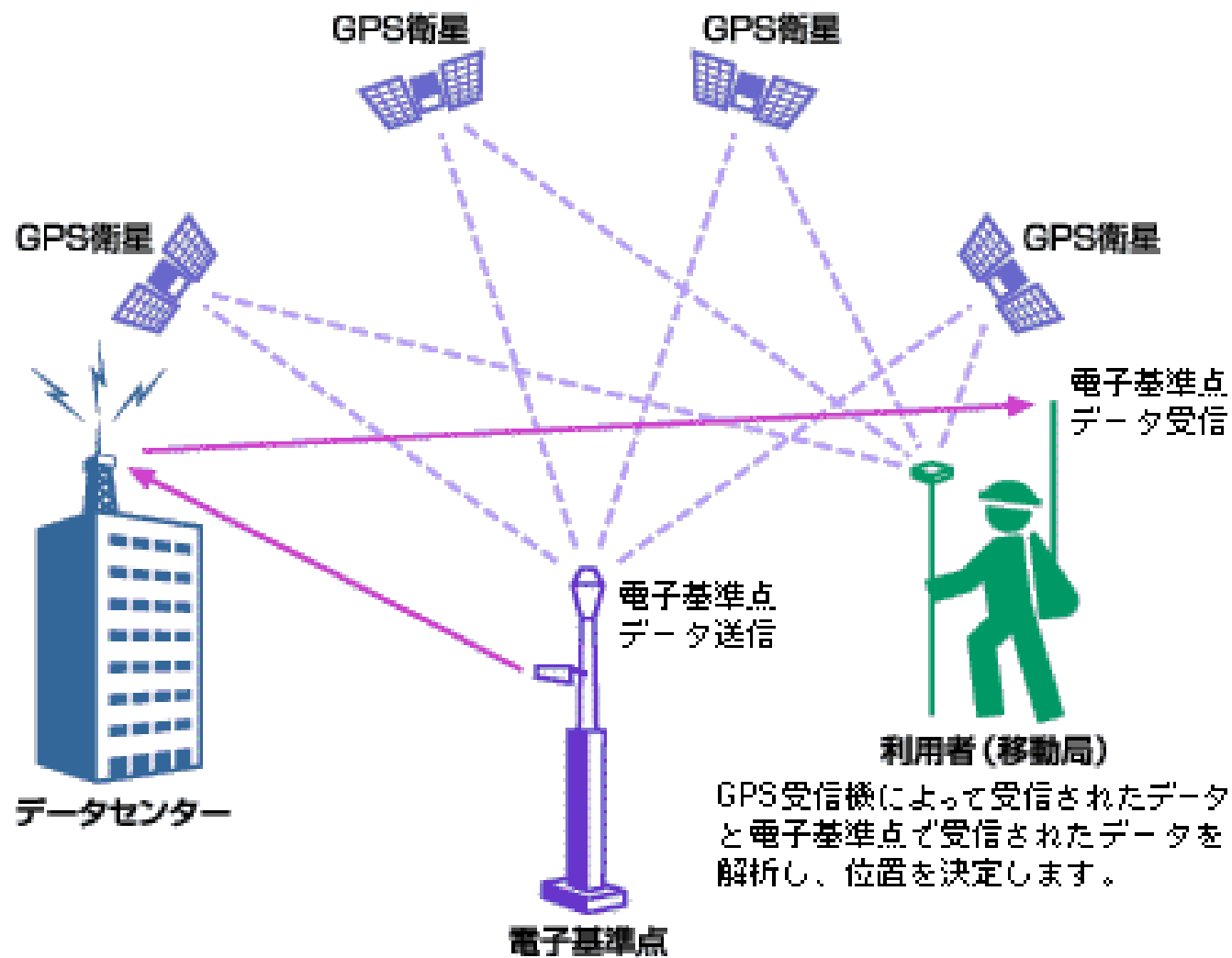


測位という発想とその技術

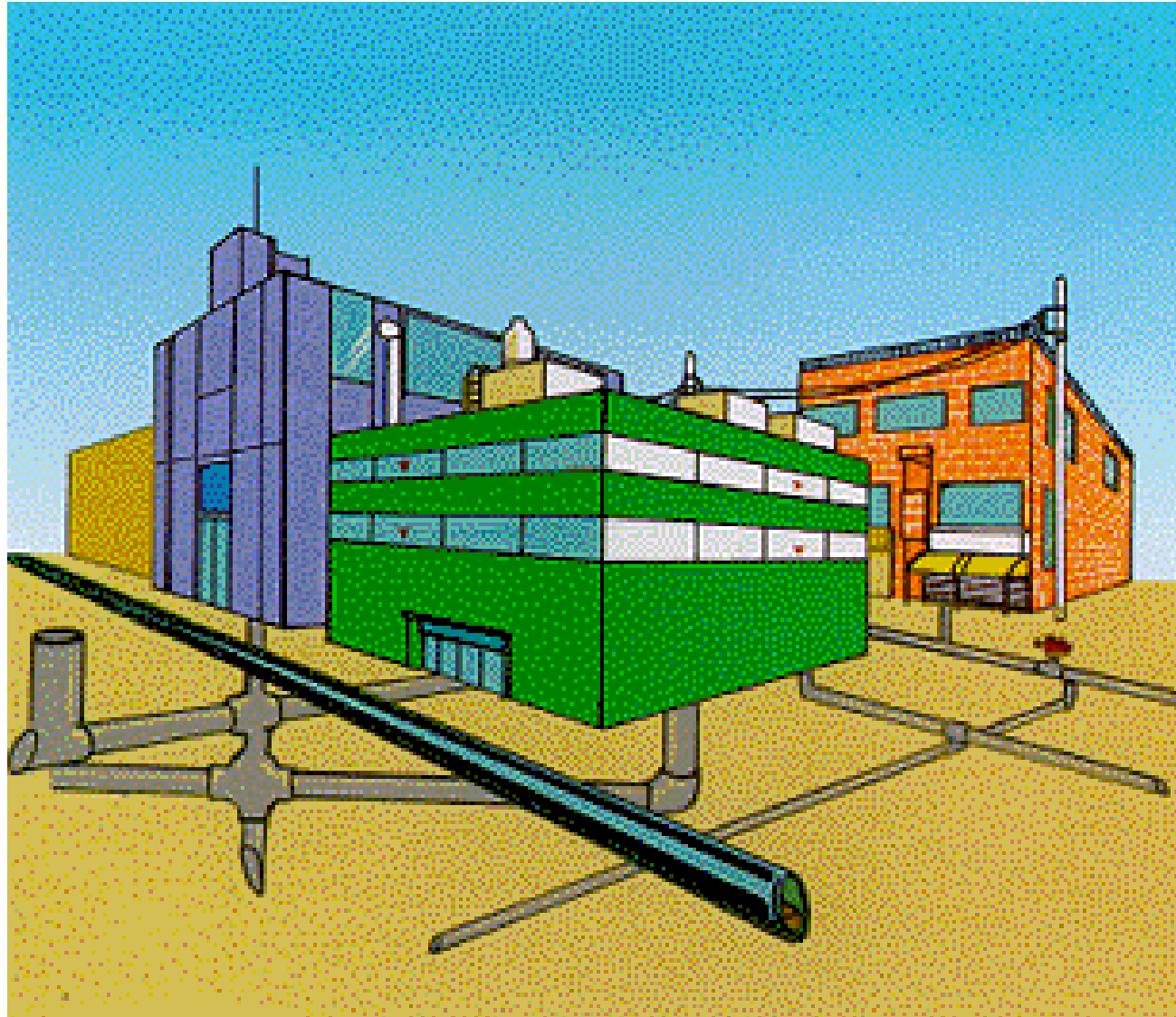
- かつては
天体観測。北極星、南十字星、太陽、月食。
- いまは
GPS（全地球測位システム） 衛星



GPS測量（国土交通省の場合）



ライフラインなどの施設管理



<http://www.gsi.go.jp/LAW/G2000/g2000-h5.htm>



つまり、

- 変化したもの

位置測定技術、精度、情報の汎用性の飛躍的進歩

- 変化しないもの

位置は経緯度という座標によって示される



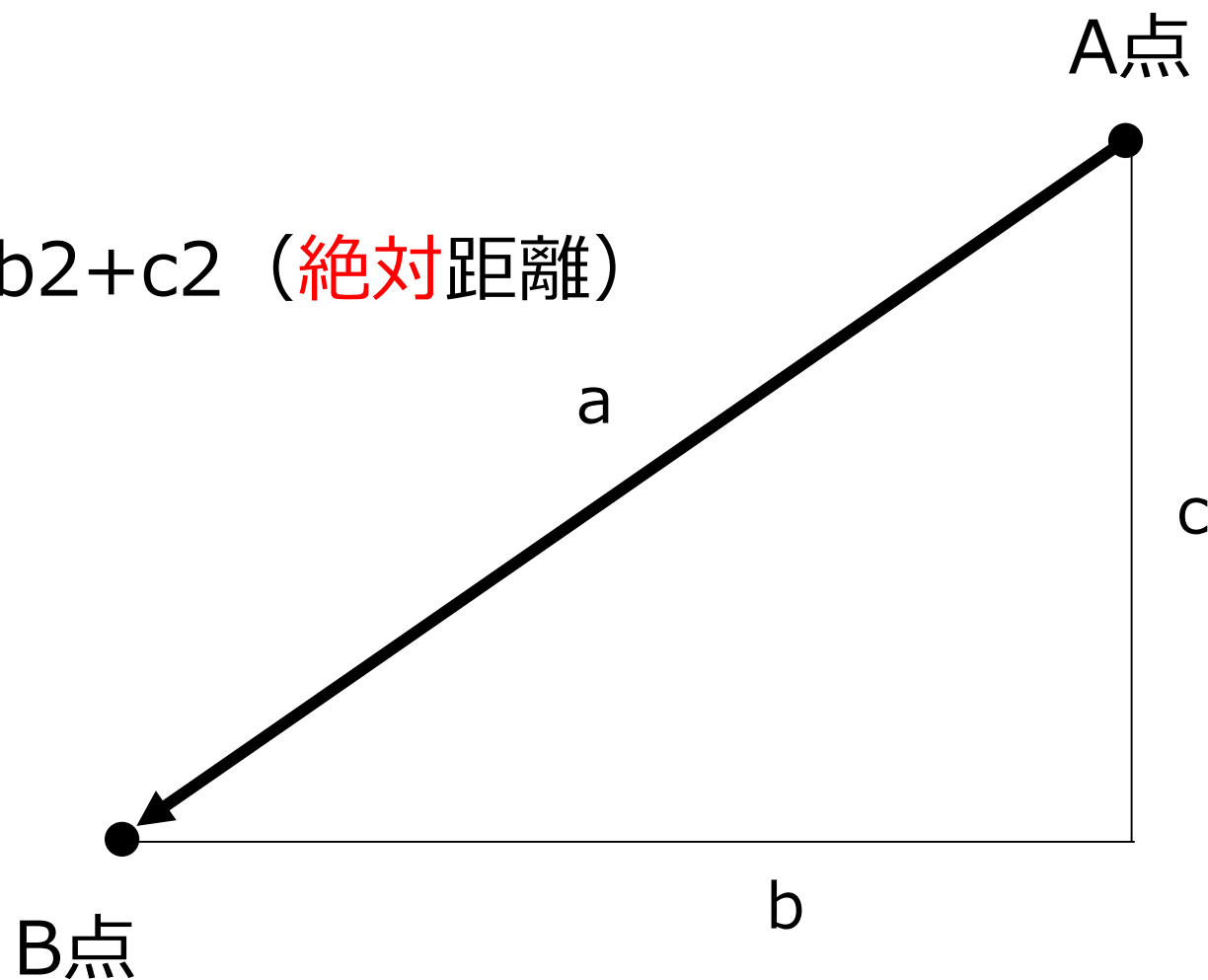
そこで、

- こうした抽象化された経緯度座標で計測・把握・表示されるような（物理的）地表の一部を空間、特に絶対空間と呼んでみましょう。
- 特定の経緯度で示される位置は地球上に一点しかない（絶対位置）。



ユークリッド空間（絶対空間）

$$a^2 = b^2 + c^2 \quad (\text{絶対距離})$$

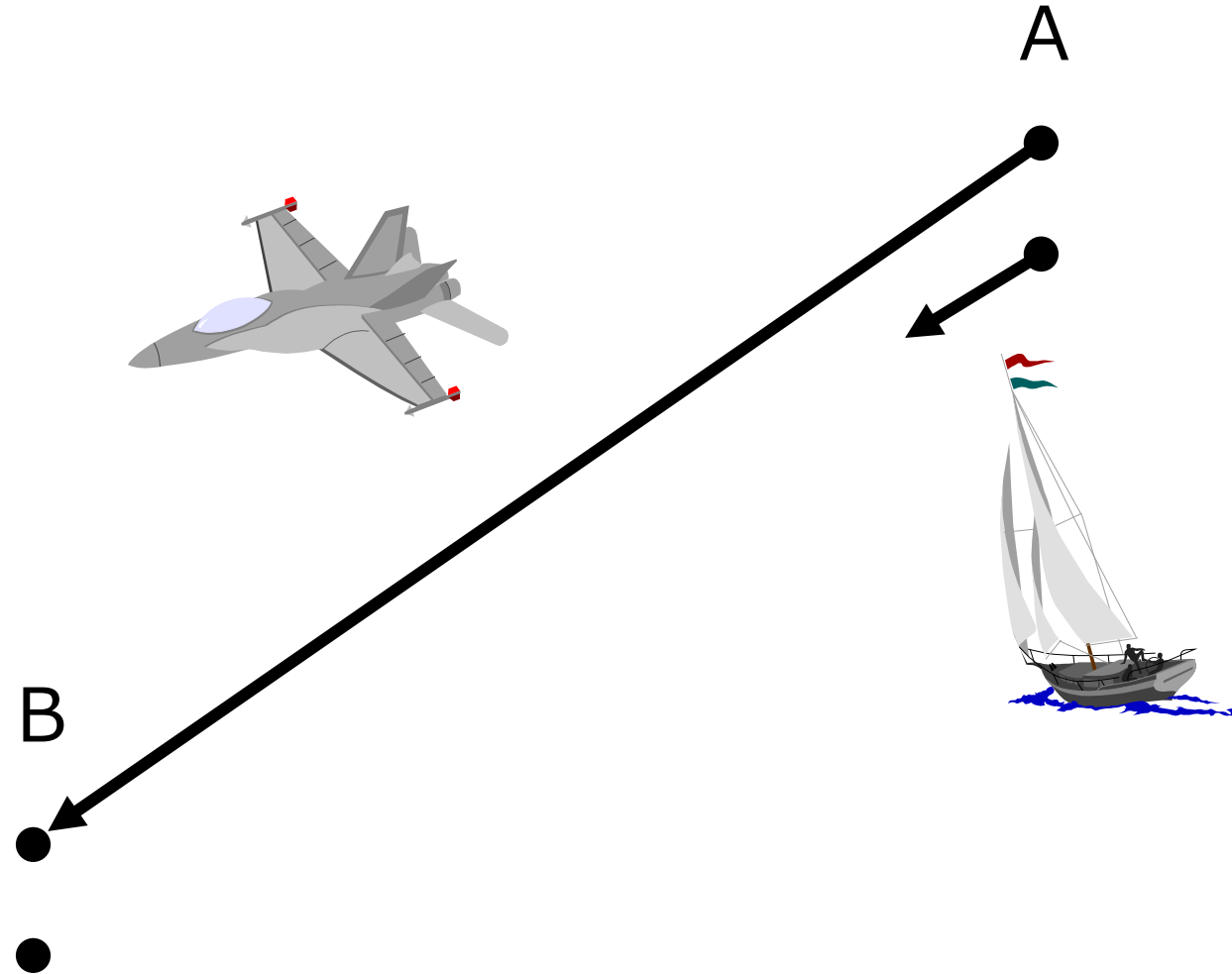


「空間」と称されるものの属性

- 物理的な量をもつ＝「長さ」、「広さ」、「大きさ」
- したがって、客観的に計測できる
- ただし可変的な性質をもつ

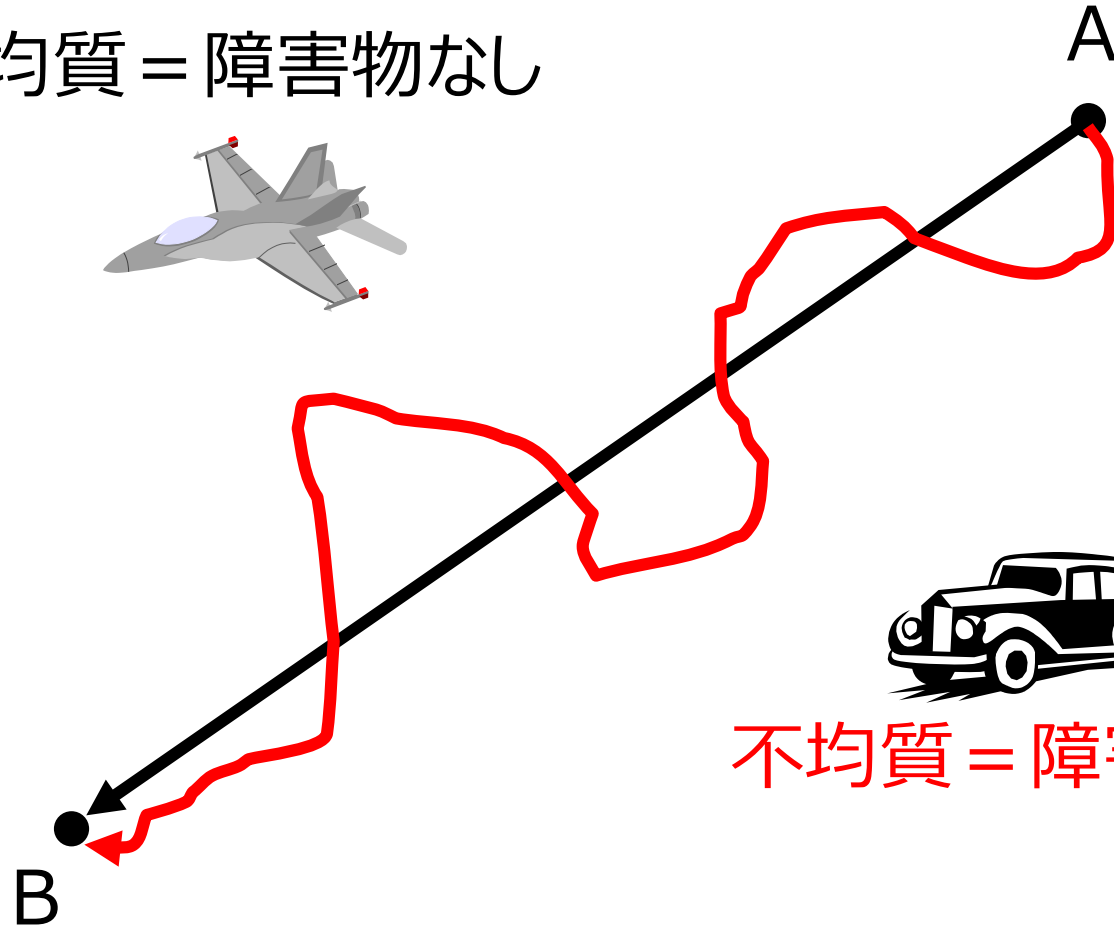
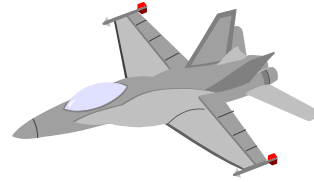


多様な距離 = 時間距離・費用距離



均質な空間と不均質な空間

均質 = 障害物なし



不均質 = 障害物あり



近代化・近代科学技術の発達と空間

- 時間による空間の「絶滅」
 - 距離の摩擦が減少、空間が均質化
- 空間の機能的・効率的利用
 - 空間の可変性増加 = 空間は生産・改変しやすくなる

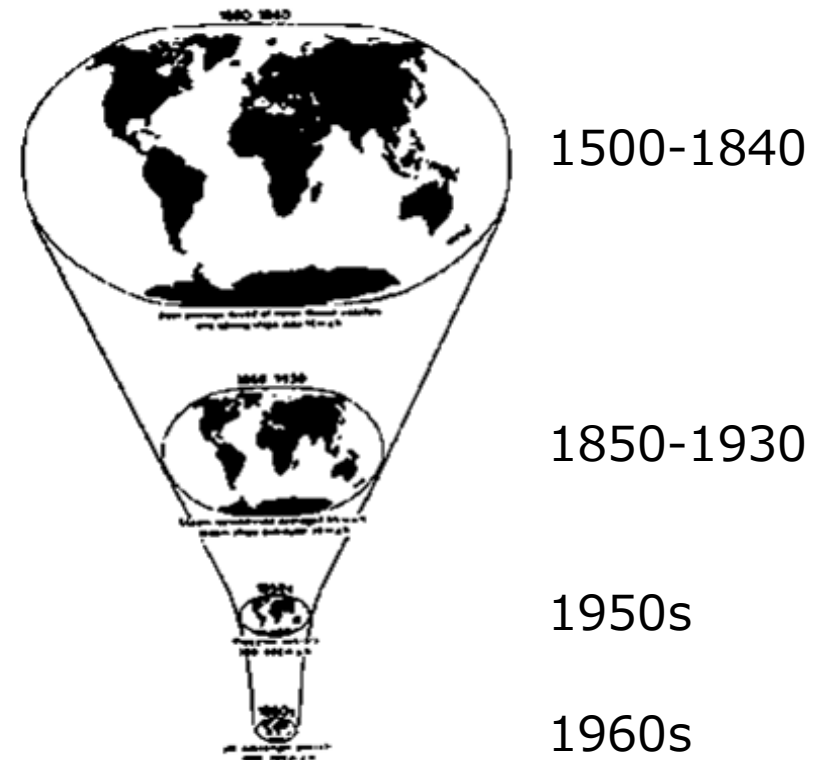
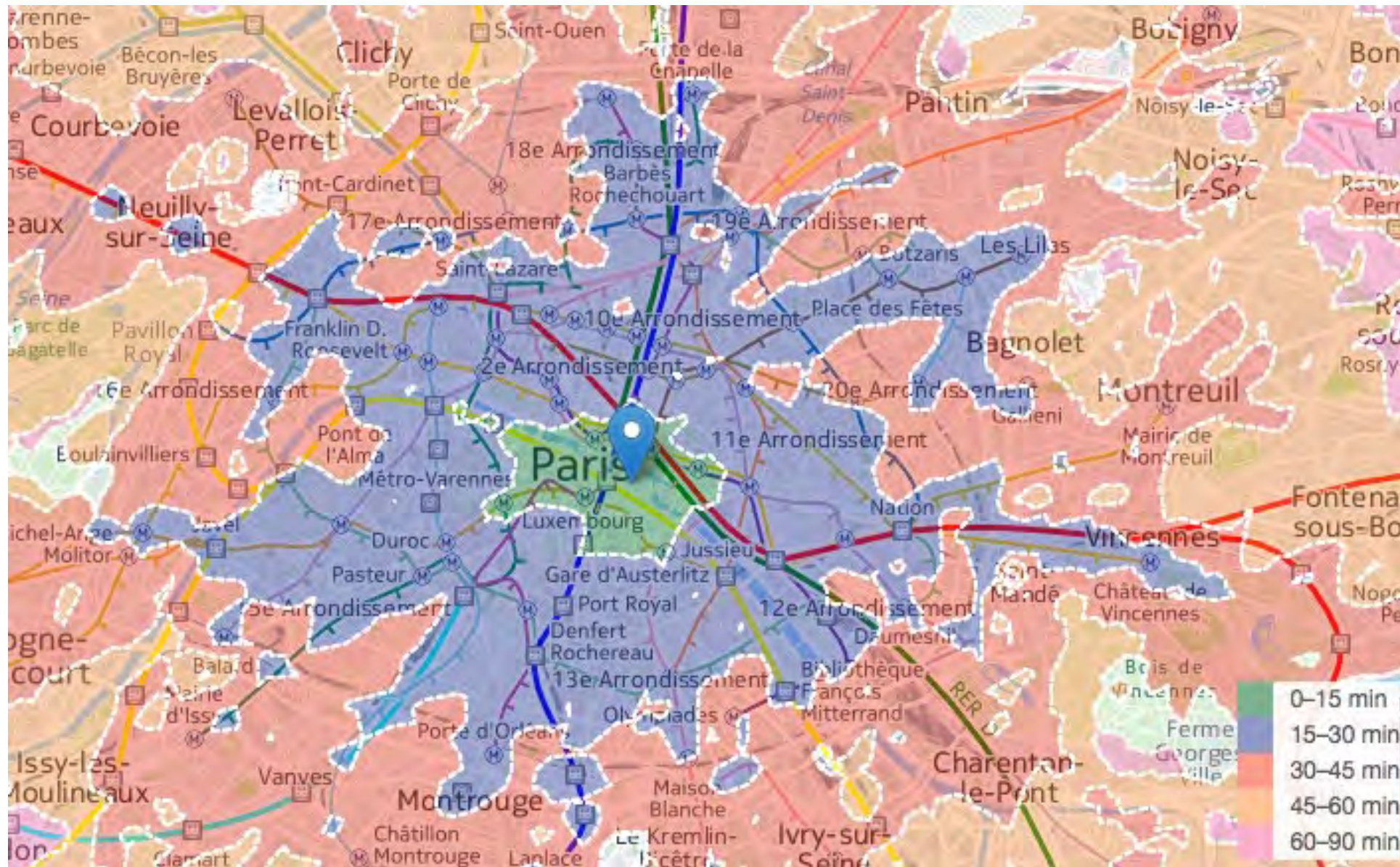


Plate 3.1 The shrinking map of the world through innovations in transport which 'annihilate space through time'.





<http://www.socialdynamics.it/2015/06/isochrone-maps/>



空間の三態（三つの捉え方）

- **絶対**空間 = 地球上の固定された位置
- **可変的な**空間 = 距離の意味・伸縮
- **相関空間** = 空間を人間との関係で捉える
 - 空間は人間の営為と切り離して考えられるか？
 - そのような客観的な物理的空間として存在しているか？



<http://www.umenosougyou.co.jp/publics/index/22/>



地理学における空間分析の展開（1）

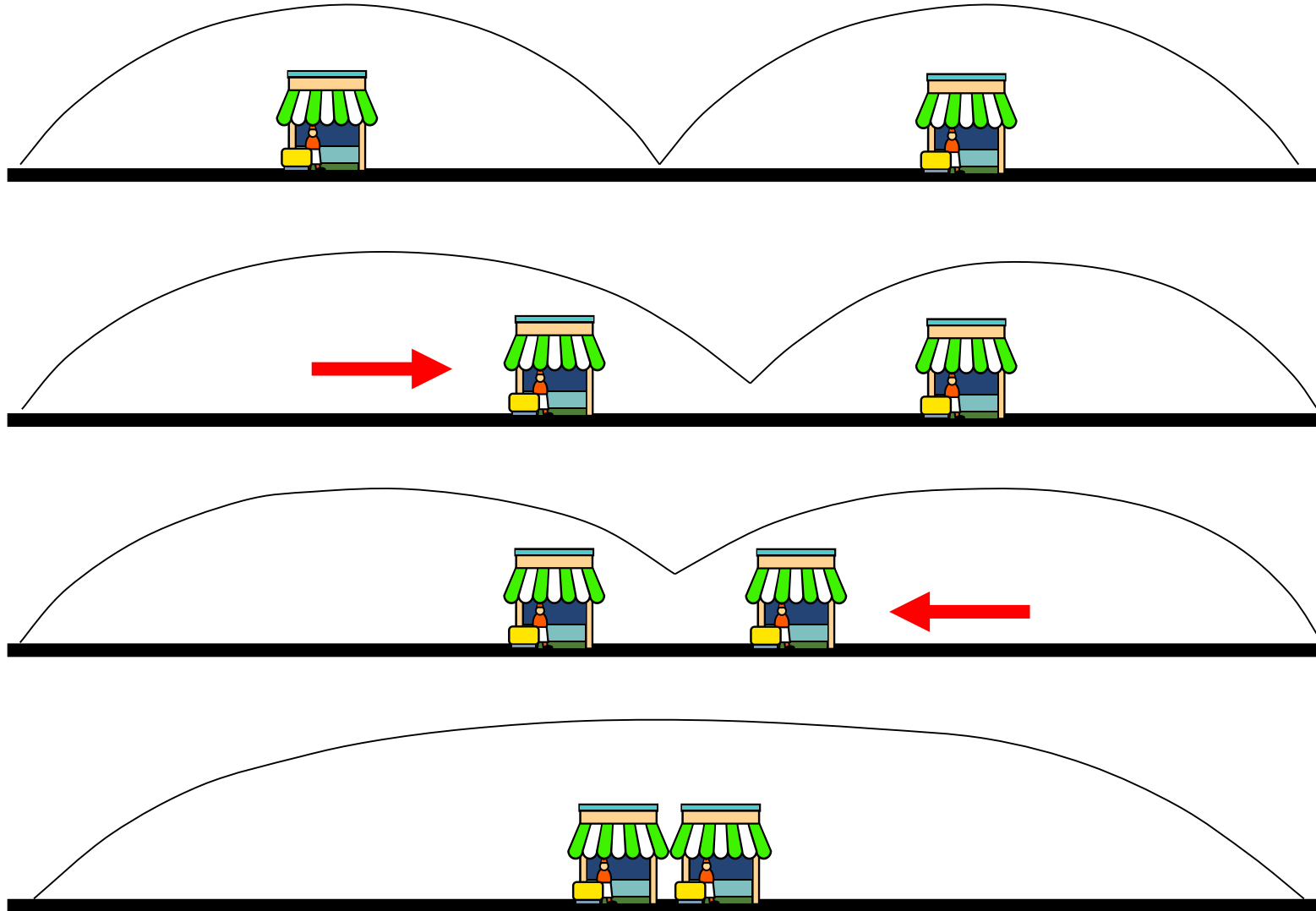
- 地誌学の伝統
 - 地域の個性を記述（所変われば品変わる）
- 「科学」への指向性（1950年代～70年代）
 - 客観性・法則性・予測可能性を求める
 - 数理的モデルの構築（計量革命）



自然や社会に存在する空間秩序の発見



海岸のアイスクリーム売り：ホテリングモデル



地理学における空間分析の展開 (2)

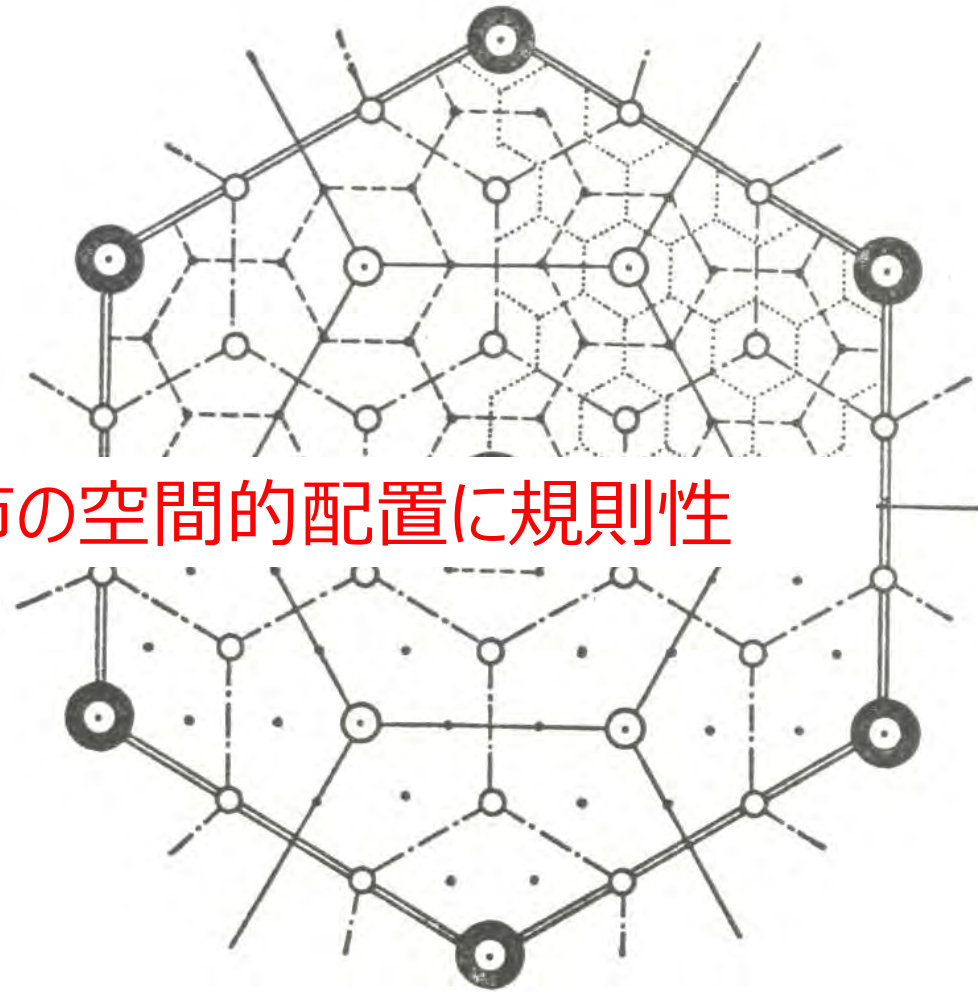
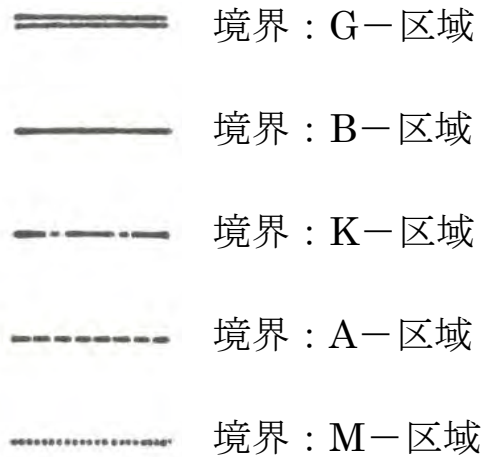
- 三つの前提
 - 海水浴客にアイスクリームのメニューに好みがない。
 - 海水浴客は近い店でアイスクリームを買う。
 - 海岸の海水浴客の混雑は均等である。
- 商店の立地戦略と集積のメカニズム



クリスタラーの中心地理論（都市の立地法則）



大都市と小都市の空間的配置に規則性



GISを使った売上予測モデルの例



- どれくらいの売上が見込めるのか？
- 自店の実勢商圏エリア・シェア・特性は？
- 総合出店 or 増床により、売上はどうか変わるか？



課題

教科書第4章は戦後の人文地理学の展開を踏まえ、空間がいかに人為的に「生産」されているかを説明しています。本章を読んで、以下の問いに答えてください。

- ① 空間分析が用いた「空間」概念の特徴をまとめてください。
- ② こうした特徴を持つ「空間」で行動する人間はどのような存在として想定されたでしょうか。1970年代以降の人文地理学はそうした空間と人間のことをどうとらえ直そうとしたのでしょうか。答えてみて下さい。
- ③ JR杉本町駅とその周辺住宅地区のGoogleマップを見て、街路空間が持つ「秩序」や「歪み」を発見してみましょう。そこに誰によってどんな空間が「生産」されてきたかその理由と共に考え、答えてください。



空間分析への批判

- 人間中心・社会変革の視角（1970年代頃～英米で）
 - 公民権・反戦・学生運動などを経て社会矛盾への学問的接近
- 空間分析での人間不在。空間的属性だけで現象を説明しようとする（空間分離主義）。
- 四つの潮流（知覚・行動、人文主義、マルクス主義、ポストモダン・批判的）



空間分離主義

- 空間分析における人間 = 合理的**経済人**
 - 合理性という公準によってのみ行動する
- ロバート・サック（1974）
 - 物体や事象（商品や消費者）の存在に関する理論から独立して、その空間的属性（距離 = 店への近さ）だけを理論化できるか
 - 物体や事象の属性はその時間的・空間的属性（いつ、どこにあるか）と不可分
 - 物体や人間はビリヤード盤上の球ではない



知覚・行動の地理学

- ・ 現実的な人間の認知や行動を科学的（心理学的）に分析
- ・ **メンタル・マップ**（認知地図）研究

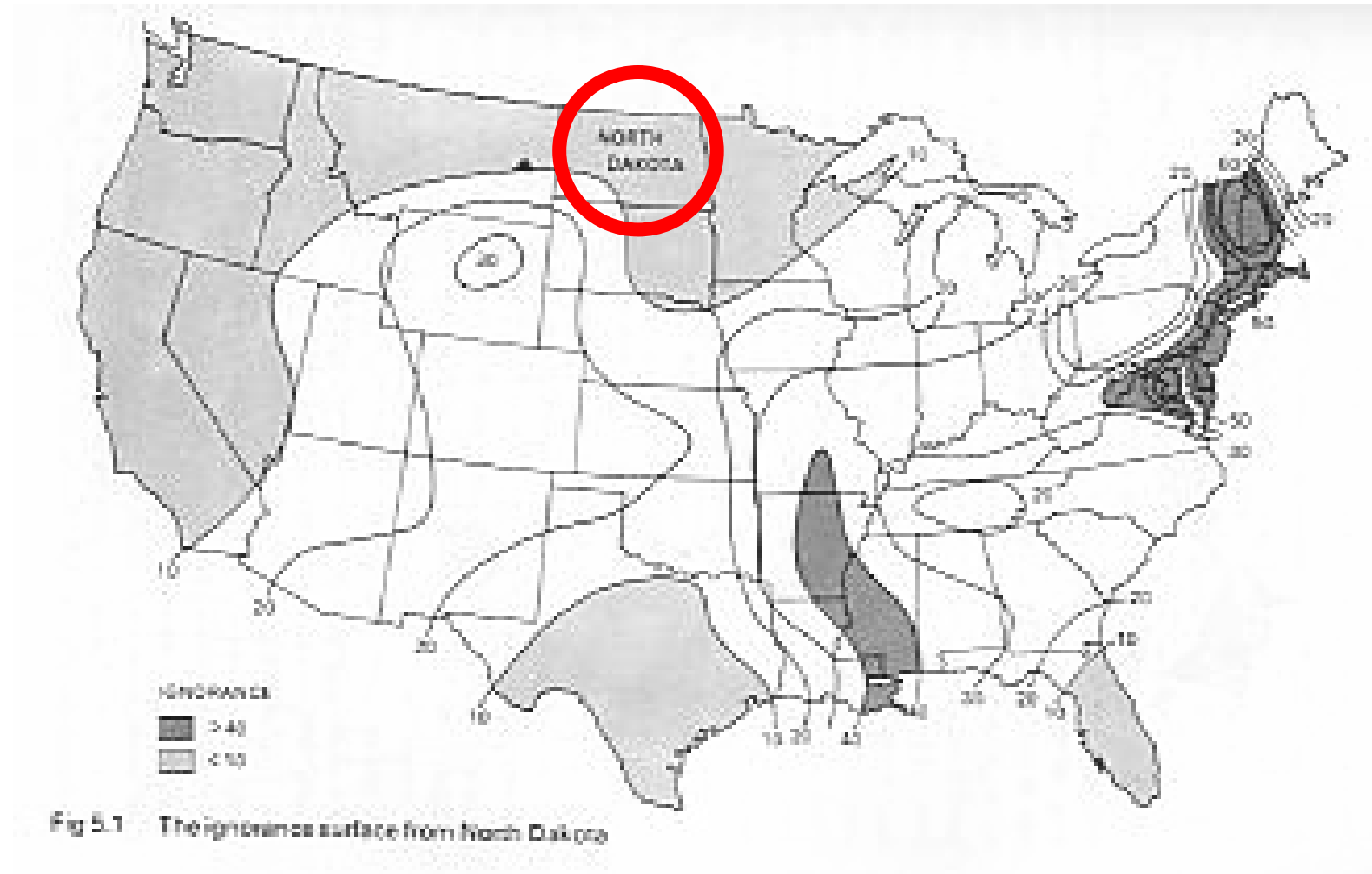


人間が認知する空間は均質ではなく、いちじるしい歪みをもっている。

北朝鮮、イラク、宮崎県が正しく認知できない理由←情報環境・メディア



メンタル・マップの例



人文主義地理学

- 特定の場所に対する**個人の（主観的・情緒的な）愛着を重視**
- 人間によって**「経験される空間」**
- 空間に対する**「場所」**
- 政治地理学にとって重要な見方
 - 後日のテーマ



マルクス主義地理学

- 空間および自然（環境）と人間との関係という地理学的テーマについて（**経済的**）**法則性を究明**。
- 空間や環境における**社会矛盾**を明らかにする。



資本主義の止揚



ポストモダン（批判）地理学

- 地理学での人間回復を指向する三つの流れを包含する。1990年代から。
- **ポストモダニズム** = 世界に通底する普遍的原理を否定。**多様性**を尊重。近代社会のあり方（**モダニズム**）を批判。

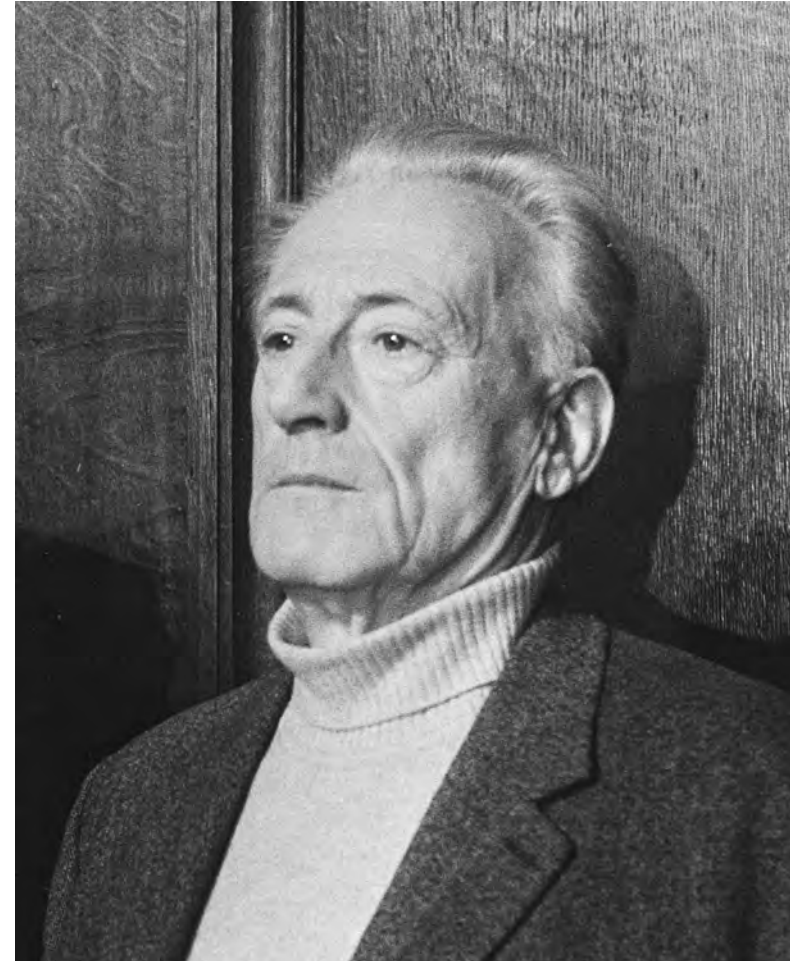


近代社会の規範から疎外された人々（女性、少数民族、同性愛者、子ども、老人、障害者etc.）とそういう人々に関わる空間や場所を対象。



空間の生産 (THE PRODUCTION OF SPACE)

- 空間の歪みを発生させるもの
 - 人間による空間の効率的利用そのもの
 - 近代化→時空間圧縮
 - 社会は不均等に変化→貧富の地域格差
- アンリ・ルフェーブル（1901-91）
 - 空間（例：用途地域、都市）は社会的な生産物
 - 生産された空間はそこに関わる人間の知覚や実践に影響する
 - そうした空間を生産する（資本制）社会を再生産



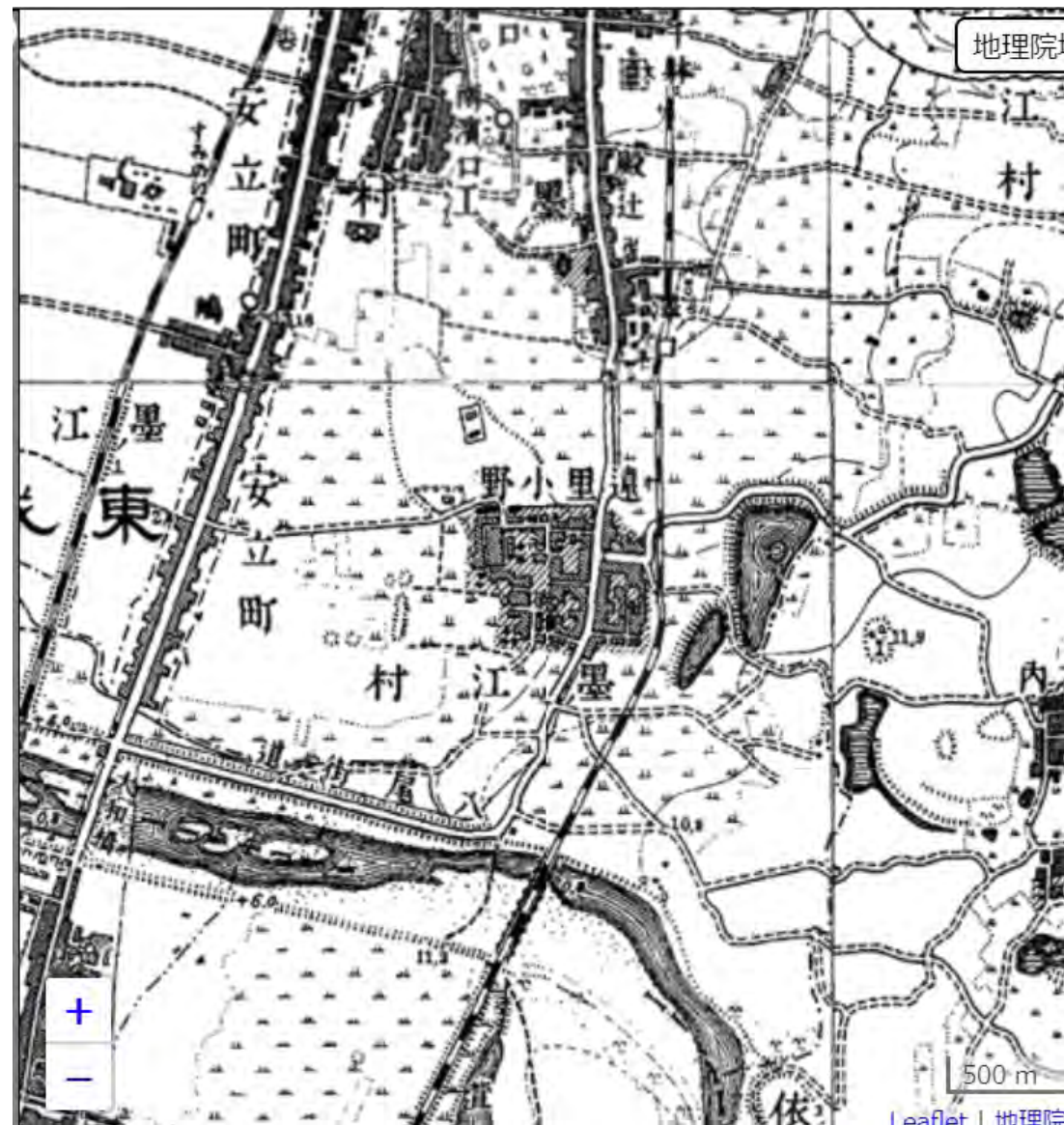
課題

教科書第4章は戦後の人文地理学の展開を踏まえ、空間がいかに人為的に「生産」されているかを説明しています。本章を読んで、以下の問いに答えてください。

- ① 空間分析が用いた「空間」概念の特徴をまとめてください。
- ② こうした特徴を持つ「空間」で行動する人間はどのような存在として想定されたでしょうか。1970年代以降の人文地理学はそうした空間と人間の間をどうとらえ直そうとしたのでしょうか。答えてみて下さい。
- ③ JR杉本町駅とその周辺住宅地区のGoogleマップを見て、街路空間が持つ「秩序」や「歪み」を発見してみましょう。そこに誰によってどんな空間が「生産」されてきたかその理由と共に考え、答えてください。

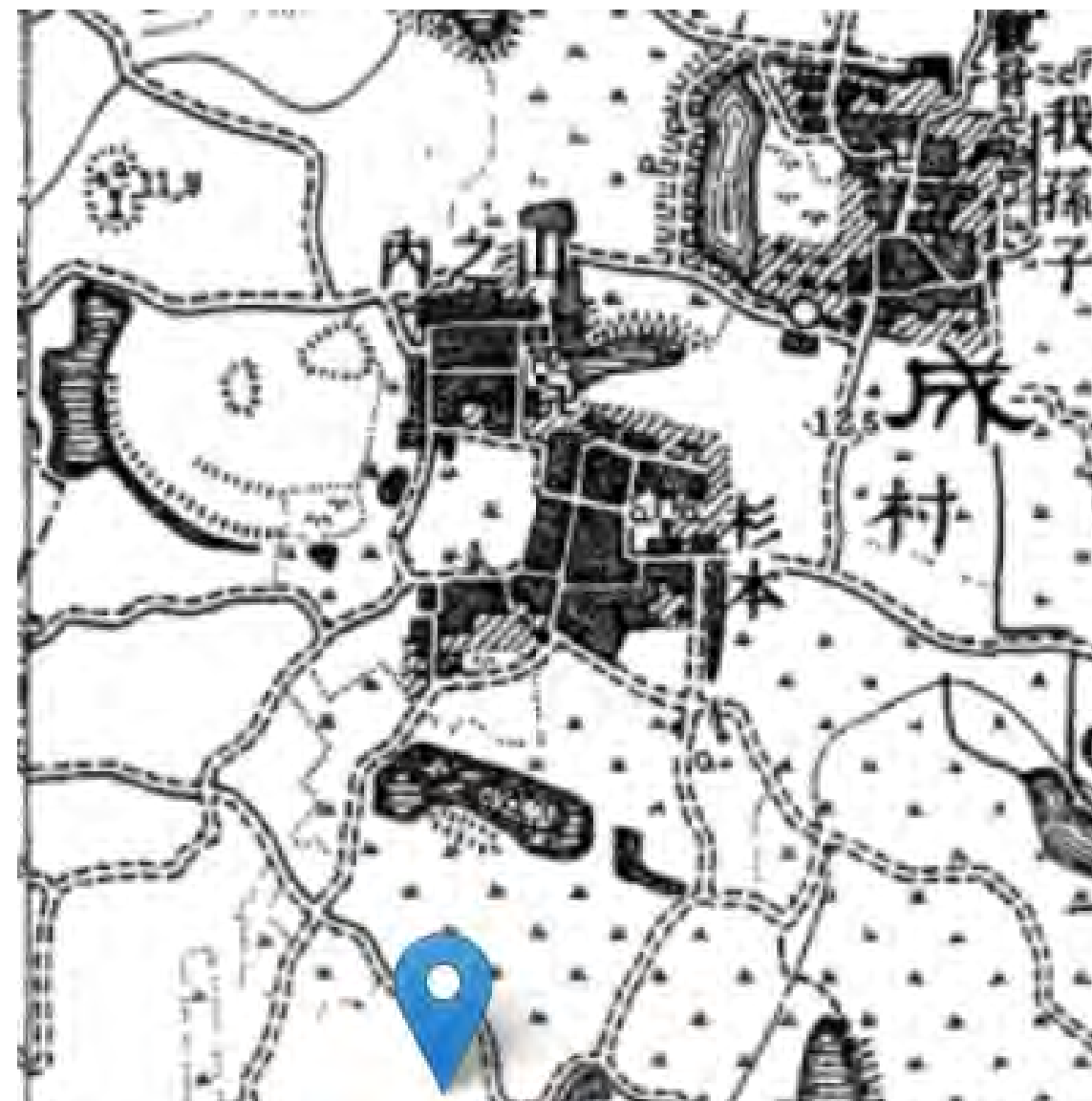






明治41（1908年）





明治41（1908年）

